

1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

すいそうの水にすむメダカは、ちいさくて目がき
らりとひかる魚です。メダカの体はうすい色で、
光があたると金や銀にひかって見えます。

朝、カーテンをあけると、光が水の中にさしこ
みます。メダカはすいすいとおよぎ、口をちいさ
くあけてエサをたべます。

エサはすこしで足りるので、多く入れすぎないこ
とが大事です。

手でかるくふたをあけ、風をとおすと、水もすが
すがしくなります。

昼、すいそうの中の水ぐさは光をうけて、空気
をつくります。あわがぶくぶくと上にのぼり、メ
ダカはたのしそうにそのまわりをおよぎます。

見ていると、せなかがきらりとひかり、心までほ
っとします。

夕方、日がしずむと、へやは少しくらくなりま
す。メダカは動きをおさえ、同じ所をゆっくりま
わることがふえます。

夜は電気をつけすぎないで、しずかにします。
よく休むと、明るい朝にまた元気におよぐので
す。

メダカをそだてるときは、水をきれいにし、毎日
よく見ることが大切です。

すいそうの中で小さな生き物ががんばるようすを
見ると、家の中にもちいさな川がある気がして、
心がさわやかになります。



(1)

この文の主ならないようにいちばんちかいは
どれですか？ばんごうを○でかこみましょう。

①メダカの体のつくりだけをしようかいし
ている。

②メダカとすいそうの「朝・昼・夜」のよう
すをせつめいしている。

③すいそうの作り方をくわしく教えている。

(2)

つぎのないようを、文からそのままぬき出し
てかきましょう。

① 朝、カーテンをあけると何が水の中に
さしこみますか。

()

② 昼、水ぐさがつくるものは何です
か。

()

③ 夜、メダカは同じところをどのようにま
わりますか。

()

(3)

つぎの文がお話とおなじないようなら○、
ちがうなら×を()にかきましょう。

() 夜はしずかにして、電気をつけず
ぎないほうがよい。

() メダカはたくさんのエサをいどに
たべるとよい。

() 水の明るい朝には、メダカはまた
元気におよぐ。

1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

すいそうの水にすむメダカは、ちいさくて目がきらりとひかる魚です。メダカの体はうすい色で、光があたると金や銀にひかって見えます。

朝、カーテンをあけると、光が水の中にさしこみます。メダカはすいすいとおよぎ、口をちいさくあけてエサをたべます。

エサはすこしで足りるので、多く入れすぎないことが大事です。

手でかるくふたをあけ、風をとおすと、水もすがすがしくなります。

昼、すいそうの中の水ぐさは光をうけて、空気をつくります。あわがぶくぶくと上にのぼり、メダカはたのしそうにそのまわりをおよぎます。

見ていると、せなかがきらりとひかり、心までほっとします。

夕方、日がしずむと、へやは少しくらくなります。メダカは動きをおさえ、同じ所をゆっくりまわることがふえます。

夜は電気をつけすぎないで、しずかにします。よく休むと、明るい朝にまた元気におよぐのです。

メダカをそだてるときは、水をきれいにし、毎日よく見ることが大切です。

すいそうの中で小さな生き物ががんばるようすを見ると、家の中にもちいさな川がある気がして、心がさわやかになります。



(1)

この文の主ならないようにいちばんちかいはどれですか？ばんごうを○でかこみましょう。

①メダカの体のつくりだけをしようかしている。

②メダカとすいそうの「朝・昼・夜」のようすをせつめいしている。

③すいそうの作り方をくわしく教えている。

(2)

つぎのないようを、文からそのままぬき出してかきましょう。

① 朝、カーテンをあけると何が水の中にさしこみますか。

(光)

② 昼、水ぐさがつくるものは何ですか。

(空気)

③ 夜、メダカは同じところをどのようにまわりますか。

(ゆっくり)

(3)

つぎの文がお話とおなじないようなら○、ちがうなら×を()にかきましょう。

(○) 夜はしずかにして、電気をつけないほうがいい。

(×) メダカはたくさんエサをいどにたべるとよい。

(○) 水の明るい朝には、メダカはまた元気におよぐ。